

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ぞうさん長丘教室		令和 8 年 3 月 31 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		指定基準以上のスペースを確保し、利用人数や活動の内容に応じてスペースの確保ができるよう、工夫をしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		基準を遵守した配置をしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		活動室と学習室を仕切ることで、場面の切り替えがしやすい構造となっている。段差や階段には手すりを設置しているが、バリアフリー化はされていないため、必要に応じて見守りや補助を行っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の清掃を徹底し、清潔な環境を保っている。活動内容に応じて、物の配置を変更し、空間作りを行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	学習室や相談室、マットでの仕切り等を用いて、個々に合わせて対応している。	自由に使用できる個室が少ないため、代わりとなる環境の調整を今後も検討していく。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	定期的に業務分担の見直しを実施。朝礼、終礼、ミーティングにて振り返り、改善点を話し合い、業務改善に努めている。	期間等の目標設定をより明確にし、業務改善に繋げていく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者からのご意見は真摯に受け止め、業務改善に努めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝礼や終礼、ミーティングを行い、全体での意見交換を行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		今後、検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	内部研修を実施している。受講できなかった職員も研修記録に目を通し、職員の資質の向上に努めている。	外部研修を受講する機会が少ないため、今後受講体制を検討していく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムを作成し、HPIにて公開。保護者には配布をしている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		定期的に個別で面談を行い、適切にアセスメントを実施している。児童や保護者のニーズ、課題に沿った個別支援計画書を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援計画書の原案を基に、原案会議を行い、チームで最善の利益を考慮した検討を行っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		個別支援計画書は全職員が共有し、計画に沿った支援を行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		アセスメントシートを作成し、確認を行っている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインに基づき、個々の児童に必要な項目を設定し、ニーズや課題に沿って支援内容を検討、設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動プログラムが固定しないよう、担当者が中心となって立案後、全職員で検討を行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		運動、クッキング、工作、SST等、様々なプログラムを取り入れている。楽しみながら実施できるよう、内容の工夫を行っている。	

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		集団活動を中心に、学習や工作、個々の課題に応じて個別活動を組み合わせ計画を作成し、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼時に活動内容や役割分担等の確認を行い、チームで連携して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6		終礼時に振り返りを行い、気づいた点等の共有を行っている。記録することで、いつでも再確認ができるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		個別支援計画書に基づいて日々の記録をとっている。必要に応じて、日報や個別対応記録も作成し、支援の検証・改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的なモニタリングを行い、見直しを行っている。継続が必要な支援に関しては、スモールステップで取り組めるよう、見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		4つの基本活動を組み合わせ、多角的に支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	各場面において、自己選択・自己決定を促す支援を行っている。	活動時等の選択肢の提示をより分かりやすく行っていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が中心に参加している。担当職員も参加することがある。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		関係機関と連携し、情報共有を行っている。	障害福祉、保育との連携体制が不十分。今後、体制を整えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		必要に応じて、適切に情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		必要に応じて、情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6		現時点で対象児童はいないが、対象児童がいた場合は情報共有等を行っていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		今後、機会があれば助言や研修を受けていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	屋外活動時に交流する機会を設けている。	積極的な交流の場が少ないため、今後検討をしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		日程の都合により、積極的な参加が困難な状態。参加可能な場合は参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や送迎時に情報の共有を行い、その日の様子等を伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	保護者会や活動参観を実施している。	実施内容等を検討し、より多くの方に参加していただけるよう努めていきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		適宜、保護者、児童にニーズ等の聞き取りを行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		半年に1回以上、保護者に対して個別支援計画書の説明を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		悩み等に対する相談は適宜対応している。また、必要に応じて面談を実施したり、関係機関と連携をとり、支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	1	活動参観や保護者会を行い、交流する場を設けている。	実施内容等を検討し、より多くの方に参加していただけるよう努めていきたい。

保護者への説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		契約時に相談窓口、苦情解決責任者の説明を行っている。苦情があった場合は、迅速に対応をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		定期的にインスタグラムで発信している。また、月毎に活動の様子を写真でまとめ、保護者に送信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の規定に則り、取り扱いには十分留意している。個人情報は鍵付書庫に保管し、SNSにおいては、個人が特定されないよう、配慮している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		必要に応じて、個別に対応を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	事業所に招待する機会はないが、地域での活動（公園遊びや買い物支援等）を行っている。地域にお住いの方を対象に、見学は随時受け付けている。	今後、防犯面を考慮しながら、より地域に開かれた事業運営を図ってきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを策定し、安全計画に基づいた訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画を策定し、定期的に訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約時に保護者に確認を行っている。また、病院受診後等は情報共有を保護者に依頼している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時にアレルギーの確認を行っている。クッキングや外食支援時には個別の対応を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、定期的に研修や訓練を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		保護者に安全計画についての案内を送付している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットを作成し、事例について職員間で検討し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		マニュアルの周知を行うとともに、定期的に研修を実施している。室内にカメラを設置し、適宜確認ができるようにしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時に説明を行い、同意を得ている。		